

I 会社の概要および組織

1 そんぽ24宣言

当社では、グループ経営理念等を当社の業務・サービスに沿って具体化した「そんぽ24宣言」をお客さまへのメッセージとして公表しています。全役職員が「そんぽ24宣言」に基づいて業務に取り組みます。

そんぽ24宣言

■私たちの信条

- ・私たちは、一人ひとりのお客さまとの絆を大切にし、お客さまにとって安心できる保険商品を提供する身近で親しみやすく頼りになる保険会社であり続けます。
- ・私たちは、お客さまの利益と満足の実現のために、お客さまの声に真摯に耳を傾け、常によりよい保険商品・サービスを生み出すことにひたすら挑戦し続けます。
- ・私たちは、保険事業の高い公共的使命と企業としての社会的責任を常に認識し、法令等のルールや企業倫理にのっとり誠実かつ適正な企業活動を通じて社会から信頼される保険会社を目指します。
- ・私たちは、「そんぽ24らしさ」を大切にし、オープンな社風の下でお客さまを始めとするステークホルダーとの積極的なコミュニケーションを行います。

■自動車保険の原点を忘れない

- ・私たちの業務は、自動車事故に遭われたお客さまのためにあることを常に自覚し、お客さまが自動車事故に遭われた時の衝撃や不安を分かち合い、最小限に止めます。
- ・お客さまが万が一自動車事故に遭われた場合の対応こそが私たちの使命であり、親身になって丁寧かつ迅速な保険サービスを提供します。
- ・自動車を運転されるお客さまにとって自動車保険は必需品であるからこそ、私たちは適正な価格で安心できる補償を提供します。
- ・私たちは、お客さまに少しでも割安な保険料で自動車保険を提供し、品質の高い保険サービスを安定的に継続してお届けします。そのためには、贅沢をしない保険会社であり続けます。

■自動車保険をもっと手軽に

- ・私たちは、お客さまがより簡単に自動車保険を理解できるように、シンプルでわかりやすい保険商品を提供し続けます。
- ・私たちは、保険加入の際の申込書を不要としており、お客さまがより簡単な手続きで申し込むことができる自動車保険を提供し続けます。
- ・私たちは、お客さまの相談・問い合わせに対して「そんぽ24だからできる」親身に真心を込めた対応を提供します。

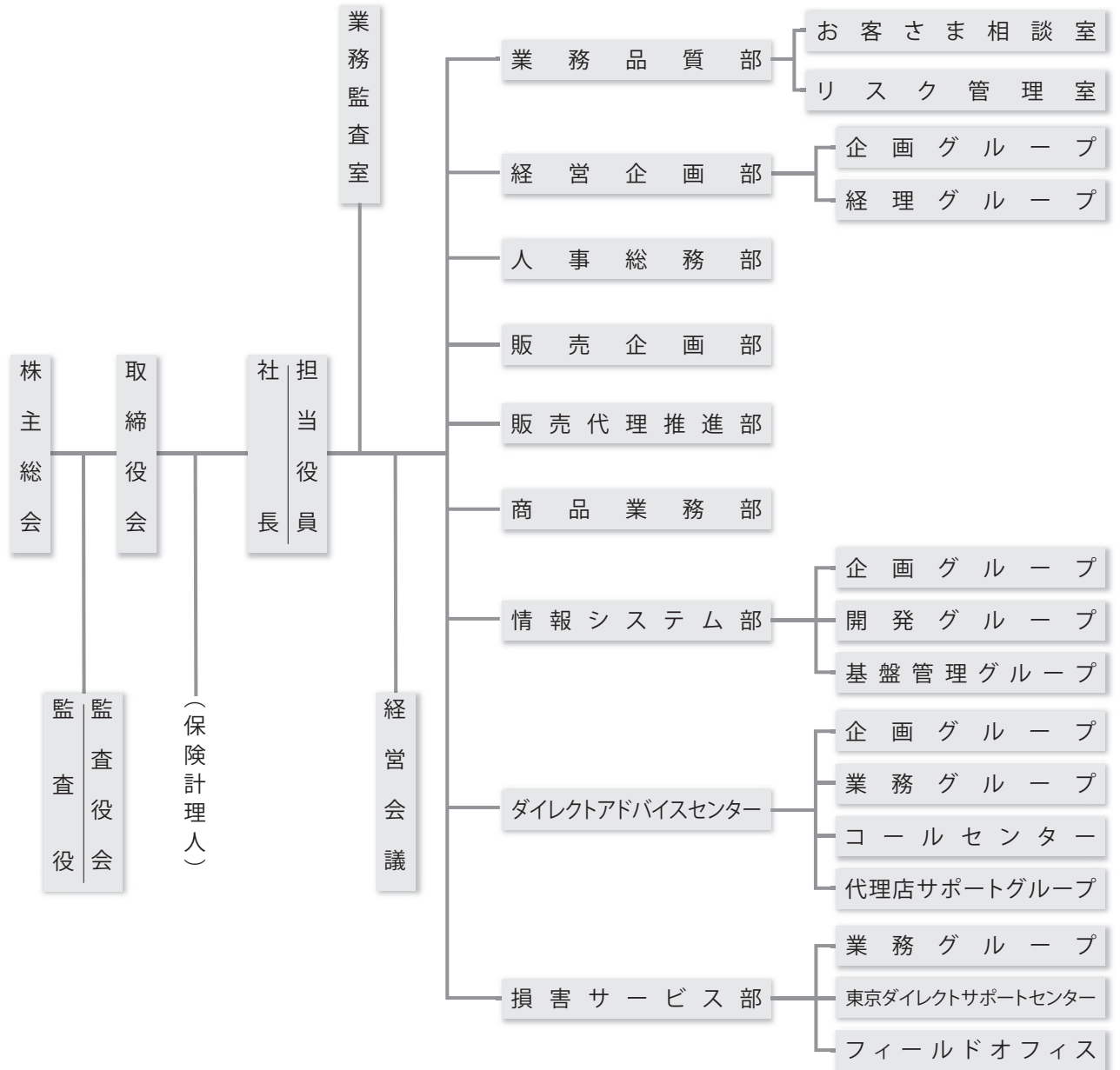
2 会社の沿革

1999年12月	安田ライフダイレクトリサーチ株式会社(準備会社)設立 資本の額 9.8億円(うち資本金4.9億円、資本準備金4.9億円) 本社所在地 東京都新宿区西新宿2-3-1
2000年 7月	本社移転 新本社所在地 東京都豊島区東池袋3-1-1
2001年 2月	安田ライフダイレクト損害保険株式会社へ改組、名称変更、資本増額 新資本の額 180億円(うち資本金90億円、資本準備金90億円)
3月	事業免許取得、営業開始
5月	安田生命保険相互会社(現、明治安田生命保険相互会社)との代理店委託契約締結
2004年 4月	ダイレクトライングループプリミテッドから明治安田生命保険相互会社への当社株式譲渡実施
7月	明治安田生命保険相互会社、安田ライフ損害保険株式会社(現、明治安田損害保険株式会社)から
10月	日本興亜損害保険株式会社(現、損害保険ジャパン日本興亜株式会社)への当社株式譲渡実施 そんぽ24損害保険株式会社へ名称変更
2005年 1月	資本増額(100億円) 新資本の額 280億円(うち資本金140億円、資本準備金140億円)
12月	朝日生命保険相互会社との代理店委託契約締結
2006年 6月	太陽生命保険株式会社との代理店委託契約締結
2007年 3月	資本増額(100億円) 新資本の額 380億円(うち資本金190億円、資本準備金190億円)
12月	金融機関窓口における自動車保険販売解禁に伴い、金融機関への代理店委託を開始
2011年11月	ペット&ファミリー少額短期保険株式会社のペット保険の取扱いを開始

3 組織

(1) 機構図

(2017年7月1日現在)



(2) 店舗所在地

本 社 〒170-6044
東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 ☎03-5957-0111(代)

4 株主・株式の状況

- (1) 基本事項
- 株主総会開催時期……………毎年4月1日から4カ月以内
 決算期日……………毎年3月31日
 公告の方法……………電子公告 *公告掲載URL (www.sonpo24.co.jp/company/ir/)

(2) 株式分布状況および株主

(2017年7月1日現在)

株主名称	住 所	持株数	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	東京都新宿区西新宿1-26-1	380,000株	100%

(3) 資本の額の推移・新株の発行

(2017年7月1日現在)

年月日	新株発行数	発行済株式総数	増資額	資本の額
1999年12月 6日	9,800株	9,800株	980,000千円	980,000千円
2000年 4月14日	5,000株	14,800株	500,000千円	1,480,000千円
2000年 9月29日	30,200株	45,000株	3,020,000千円	4,500,000千円
2001年 2月17日	135,000株	180,000株	13,500,000千円	18,000,000千円
2005年 1月24日	100,000株	280,000株	10,000,000千円	28,000,000千円
2007年 3月23日	100,000株	380,000株	10,000,000千円	38,000,000千円

5 役員および従業員の状況

(1) 役員の状況

(2017年6月27日現在)

役職名	氏名	担当業務
代表取締役社長 社長執行役員	ながの ひさゆき 永野 寿幸	総括、業務監査室
取締役 専務執行役員 (経営企画部長) (人事総務部長)	あらかね たかし 荒金 高志	社長補佐、経営企画部、人事総務部、情報システム部
取締役 常務執行役員 (業務品質部長)	きさか しょうじ 木坂 昌二	業務品質部、ダイレクトアドバイスセンター、損害サービス部
取締役 常務執行役員	しばた ひろし 柴田 博史	販売企画部、販売代理推進部
常務執行役員 (販売代理推進部長)	ましも ひろゆき 真下 裕行	
取締役 (非常勤)	たかさわ としゆき 高澤 俊幸	(損害保険ジャパン日本興亜株式会社 リテール商品業務部 グループリーダー)
執行役員 (商品業務部長) (情報システム部長)	つづき かずひろ 都筑 和宏	商品業務部
監査役(常勤)	いとう かずゆき 伊藤 和之	
監査役(非常勤)	つちや ただし 土屋 貞	(SOMPOホールディングス株式会社 内部統制部、 SOMPOリスケアマネジメント株式会社 監査役、 株式会社プライムアシスタンス 監査役)
監査役(非常勤)	あかいけ ふみあき 赤池 文明	(損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社 社外監査役)

(注) 伊藤和之氏と赤池文明氏は社外監査役です。

(2) 従業員の状況

(2017年3月31日現在)

2015年度末	2016年度末	増減	2016年度末		
			平均年齢	平均勤続年数	平均給与月額
244名	225名	▲19名	45.1歳	9.0年	338千円

- (注) 1. 従業員には使用人兼務取締役、退職者を含んでいません。
 2. 従業員の人数は、就業人員数(社外への出向者を除き、社外からの出向者を含む。)を記載しています。
 3. 平均年齢および平均勤続年数は小数点第2位を切り捨てて、小数点第1位まで表示しています。
 4. 平均給与月額は2017年3月の平均給与月額(時間外勤務手当を含む。)であり、賞与を含んでいません。

6 業務または事務の受委託・子会社等の概況

(1) 業務または事務の委託

当社は、保険契約の募集（保険契約の媒介）等の業務または事務を、明治安田生命保険相互会社、朝日生命保険相互会社、太陽生命保険株式会社および損害保険ジャパン日本興亜株式会社に委託しています。また、損害査定等の業務または事務を、損害保険ジャパン日本興亜株式会社に委託しています。これらの業務委託は、保険業法第98条第1項第1号ならびに保険業法施行規則第51条第1号および第2号の規定に基づいて行われています。

なお、明治安田生命保険相互会社、朝日生命保険相互会社および太陽生命保険株式会社は、保険業法第98条第1項および第2項の規定に基づき業務の代理・事務の代行にかかる認可をそれぞれ取得しています。また、損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、同法同

条同項の規定に基づき業務の代理・事務の代行につき届出を行っています。

(2) 業務または事務の受託

当社は、保険契約の募集（保険契約の媒介）等の業務または事務を、ペット＆ファミリー少額短期保険株式会社より受託しています。これらの業務受託は、保険業法第98条第2項ならびに保険業法施行規則第51条第1号および第2号の規定に基づいて行われています。

(3) 子会社等の概況

該当事項はありません。

7 会社の特色

当社は「お客さまに、シンプルでわかりやすい保険商品を、ご納得いただける価格でご提供すること」、「お客さまの事故に際しては、万全のサービスをご提供すること」をポリシーとした保険会社です。個人向けリスク細分型自動車保険「そんぽ24自動車保険」を、媒介代理店を通してお客さまにご案内し、お申込みはお客さまが当社公式ウェブサイト・コールセンターで直接行うビジネスモデルを展開しています。また、万一の事故に際しては、損害保険ジャパン日本興亜株式会社の全国ネットワークと連携して、お客さまに万全の事故対応サービスをご提供する体制を整えています。

(1) インターネットサービス

●公式ウェブサイト

「より見やすく、よりわかりやすく、より使いやすい」を基本とする公式ウェブサイトでは、新たにご加入いただく際の保険料のお見積り・ご契約のお申込みから、車両入替や住所変更などで契約後の契約内容の変更、満期時のご継続のお申込みまで簡単にお手続きいただけます。また、当社の商品・サポートのご案内、自動車保険の基礎知識、最新のプレスリリース・お知らせなどお客さまの情報収集に役立つコンテンツを揃えています。



[ウェブサイトトップページ：2017年7月1日現在]

●サイトご利用環境

当社公式ウェブサイトは、以下に掲載の OS・ブラウザで動作確認を行っています。(2017年7月1日現在)

【推奨環境】

パソコン	
OS	ブラウザ
Windows 10	Microsoft Edge
	Internet Explorer 11
Windows 8.1	Internet Explorer 11
Windows 7	Internet Explorer 11
	Internet Explorer 10
	Internet Explorer 9
	Firefox 49
	Chrome 53
macOS Sierra v10.12	Safari 10.0

※Windowsの「モダンUI」によるタッチパネルでの操作、およびWindowsストアアプリ版のInternet Explorerは、推奨環境の対象外です。

【動作確認済み環境】

スマートフォン・タブレット	
OS	ブラウザ
iOS 10.0	標準搭載ブラウザ
iOS 9.3	標準搭載ブラウザ
Android OS 7.0	Chrome 53
Android OS 6.0	Chrome 53

※スマートフォンやタブレットでご利用の場合、標準搭載ブラウザをご利用ください。

「Googleアプリ」や「Yahoo!ブラウザ」では正常に動作しないことがあります。

※上記「推奨環境」、「動作確認済み環境」記載のOS・ブラウザは当社で動作確認済みですが、すべての環境・条件での動作を保証するものではないため、ご注意ください。

※上記内容は、予告なく変更させていただく場合があります。

(2)ダイレクトアドバイスセンター

お客様への窓口として、「ダイレクトアドバイスセンター」(コールセンター)を設置し、自動車保険に関するお問い合わせから、保険料のお見積り、ご契約手続き、ご契約後の各種変更手続きまで承っています。カスタマーサービスの研修と経験を積み重ねた「ダイレクトアドバイザー」が、一人ひとりのお客様に心を込めて向き合い、お客様の「ひとこと、ひとこと」を丁寧に聴きし、わかりやすく親切な対応を心がけています。

(3) 媒介代理店

当社は、そんぽ24自動車保険をお客様にご紹介する「媒介代理店」を展開しています。

媒介代理店は、「顔の見える身近な通販型損保」としてお客様に親しんでいただけるよう、様々なマーケットにてお客様と当社との橋渡しをしています。

このビジネスモデルは、開業以降、明治安田生命保険相互会社、朝日生命保険相互会社、太陽生命保険株式会社といった生命保険会社との提携を中心に順次

拡大し、保険ショップや金融機関との提携も行っています。

今後も媒介代理店のビジネスモデルを通じて、多様化するお客様のニーズにお応えし、お客様の利便性の向上を図ってまいります。

(媒介代理店の詳細については、「II.5.(3)代理店について」をご覧ください。)

(4) 全国事故対応ネットワーク

当社では、万一の際にもお客様にご安心いただけるよう、充実したサポート体制を整えています。損害保険ジャパン日本興亜株式会社の全国約220か所(2017年7月1日現在)のネットワークと連携し、お客様の身近な拠点で迅速かつきめ細やかな事故対応サービスをご提供します。

事故受付は通話料無料で24時間365日実施しており、受付後は、事故タイプに応じて経験豊富な専門の担当者が、責任を持って事故解決にあたります。

また、故障など突発的なトラブル発生時も、お電話一本で全国約9,500か所(2017年7月1日現在)の拠点からロードサービスをご利用いただけるほか、当社スマートフォン用サイト等からは「GPS現在位置特定サービス」を使ったロードサービスをご利用いただけます。

このようなサービスのご提供により、当社は、お客様の快適なカーライフを全力で支えるよう努めています。

会社の現状

I 会社の概要および組織

II 主要な業務の内容

III 健全な経営

業績のお知らせ

I 主要な業務に関する事項

II 財産の状況

8 トピックス

(1) 商品・サービスの改定

当社では、お客さまの声をふまえて以下の改定を行いました。「(II.8.(4)お客さまの声を商品・サービスの改善に活かすための取組み」をあわせてご覧ください。)

①商品改定等

保険期間の初日が2016年8月1日以降のご契約より、次の商品改定等を行いました。

- 「個人賠償責任特約」の新設
日本国内で発生した日常生活の偶然な事故(自動車事故は除きます。)によって、他人にケガをさせたり、他人の財物を壊したことにより、法律上の賠償責任を負った場合に保険金をお支払いする特約を新設しました。
- 「無過失車対車事故の特則」の新設
お客さまに過失のない事故によって車両保険金をお支払いする場合、当社と締結する継続契約の等級および事故有係数適用期間を決定するうえで、その事故がなかったものとして取り扱う特則を新設しました。
- 「自動車保険証券」のリニューアル
レイアウトを変更するとともに、表やイラストを取り入れ、「見やすく、わかりやすく」リニューアルしました。

②車両保険の引受範囲の拡大

2016年8月8日以降、初度登録から12年以上経過したお車に新たに車両保険をお付けいただく場合、インターネットでもご契約が可能となりました。(ただし、初度登録から20年以上経過したお車や希少車等については対象外となります。)

③事故受付サービスの拡充

2017年1月6日以降、耳や言葉の不自由なお客さまのために専用FAXによる事故受付を開始しました。

④保険料払込方法の拡充

2017年2月12日以降、保険期間の初日の前日までのお申込みについて、コンビニ払(スマートビット)で保険料のお支払いが可能となりました。

(2) HDI格付けベンチマーク「問合せ窓口(電話)」・「Webサポート」格付けにおいて、最高ランクの『三つ星』を獲得

当社は、HDI-Japan^{*}が実施するHDI格付けベンチマークの「問合せ窓口(電話)」および「Webサポート」の両部門において、最高ランクの『三つ星』を獲得しました。なお、「問合せ窓口(電話)」は3年連続3回目、「Webサポート」は2年連続2回目の三つ星獲得となります。

今回の調査においては、シンプルでわかりやすく、顧客視点で利用しやすいウェブサイトと、電話対応窓口でのお客さま一人一人に合わせた積極的で安心感のあるサポートが高く評価されました。

調査期間:2016年8月

※HDI-Japanは、1989年に設立されたITサポートサービス業界における世界最大の会員を擁する国際機関HDI(Help Desk Institute)の日本における団体です。

(3) お客さまキャンペーンの実施

■『そんぽ24クラブオフキャンペーン』

「そんぽ24クラブオフ」にご登録のお客さまで、キャンペーンに応募いただいた方の中から抽選で毎月24名様に「カタログギフト(3,000円相当)」が当たるキャンペーンを実施いたしました。

実施期間:2016年10月1日から2017年3月31日

■『お客さま大感謝キャンペーン』

キャンペーン期間中に新規契約または継続契約をお申込みいただいたお客さまの中から抽選で毎月100名様に「カタログギフト(5,000円相当)」が当たるキャンペーンを実施いたしました。

実施期間:2017年1月1日から2017年3月31日

※本キャンペーンは賞品等を変更し、2017年12月31日まで継続して実施する予定です。

9 環境保全活動

当社では持続可能な社会を実現するため、地球環境の保全に取り組んでいます。2002年6月に日本興亜損害保険株式会社(現 損害保険ジャパン日本興亜株式会社)の本社サイトで国際標準規格「ISO14001」の認証を取得し、その後、2005年6月には、当社を含む全国組織で認証を取得しました。

地球温暖化の大きな原因であるCO₂排出量の削減および循環型社会形成に向けた廃棄物の削減を推進

していくために、電力使用量やコピー用紙など紙使用量の削減について目標を設定して取り組むとともに、エコマーク、グリーンマークの文房具購入等を推進し、設定した目標に対してPDCAサイクルによる継続的改善に取り組んでいます。

今後も、以下の「グループ環境ポリシー」にのっとり、環境保全活動を進めてまいります。

グループ環境ポリシー

SOMP Oホールディングスグループは、かけがえのない地球環境を未来へ引き継ぐため、業務プロセスに環境への配慮を組み込むとともに、ステークホルダーとの積極的な対話と協働を通じて、環境問題の解決に積極的に取り組むことで、レジリエントで持続可能な社会づくりに貢献していきます。

《環境行動》

1. 社会のレジリエンスを高めるための商品・サービスの提供

自然災害リスクに備える商品・サービスを安定的に提供します。

また、気候変動の影響の軽減、低炭素社会の構築、生物多様性の保全、ステークホルダーの環境配慮行動の促進などに寄与する商品・サービスの開発・提供に努めます。

2. バリューチェーンを含めた環境負荷の低減

事業活動に伴う環境への負荷を認識し、環境関連法規制などの遵守はもとより、さまざまなステークホルダーと連携・協働して、省資源・省エネルギー、資源循環に取り組むとともに、バリューチェーン全体での環境負荷の低減に努めます。

3. 環境問題に対する意識啓発、環境・地域貢献活動の推進

社会全体の環境問題に対する関心を高めるため、保険事業を中心にさまざまな事業を展開しているグループならではの知見を生かした環境関連情報を発信することで、環境保全の重要性を社会に広く伝えていくとともに、環境教育・啓発活動に努めます。

また、社員ひとりひとりが「よき家庭人、よき社会人」および「地球市民」として自発的に行う環境保全活動や地域貢献活動などを積極的に支援します。

上記の取組みについて、環境目的および環境目標を定めて定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

10 社会貢献活動

(1) 当社の取組み

当社では以下の社会貢献活動を通じて、地球環境の保全や国際貢献、地域への貢献等に取り組んでいます。

① ペットボトルキャップの回収等

ペットボトルのキャップを回収して非営利団体に寄付することにより、世界の子どもたちにワクチンを贈る活動や、自動販売機の商品購入代金の一部を「緑の募金」に寄付する活動、読み終わった本・聴かなくなったCD等を持ち寄って東日本大震災被災地の移動図書館支援に役立てる活動等に取り組んでいます。

② 地域の清掃活動

地域で行われる環境美化キャンペーンやグループで開催されるボランティアデーの取組みとして、社員有志を募り、本社周辺の清掃活動を行っています。

③ 東日本大震災への対応

当社では被災地や被災者に何が必要か、今必要とされる支援のあり方について考え、被災地の移動図書館プロジェクトへの支援や被災地の子どもたちにクリスマスカードを贈る活動等に取り組んでいます。

④ 「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則（21世紀金融行動原則）」への署名

当社では2011年12月に「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則（21世紀金融行動原則）」の趣旨に賛同し、署名を行いました。当社においてはISO14001環境推進活動をはじめとして、エコ安全ドライブの推進、リサイクル部品活用の推進等を行っています。今後も「持続可能な社会の実現に貢献する」ことを目指して、さらなる取組みを検討、実施してまいります。

(2) 損保協会の一員としての取組み

当社では、当社独自の社会貢献活動のほか、一般社団法人日本損害保険協会の一員として、事故、災害および犯罪の防止・軽減にむけて、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

主な取組みは以下のとおりです。

① 交通安全対策

■ 交通事故防止・被害者への支援

自賠償保険の運用益を以下のような自動車事故防止対策・自動車事故被害者支援等に活用しています。

- ・ 自動車事故防止対策：高齢者の交通事故防止施策研究支援、自転車シミュレータの寄贈、飲

酒運転根絶事業支援等

- ・ 自動車事故被害者支援：高次脳機能障害者支援、脊髄損傷者支援、交通遺児支援等
- ・ 救急医療体制の整備：高規格救急自動車の寄贈、救急外傷診療研修補助等
- ・ 自動車事故の医療に関する研究支援
- ・ 適正な医療費支払のための医療研修等

■ 交通安全啓発活動

・ 交差点事故防止活動

交差点における事故低減を目的として、47都道府県の事故多発交差点5箇所の特徴や注意点等をまとめた「全国交通事故多発交差点マップ」を毎年損保協会ホームページで公開し、ドライバーや歩行者、自転車利用者など、交差点を通行するすべての方への啓発を行っています。

・ 自転車事故防止活動

自転車事故の実態やルール・マナーの解説とともに、自転車事故による高額賠償事例や自転車事故に備える保険などを紹介した冊子と事故防止の啓発チラシを作成し、講演会やイベントを通じて自転車事故防止を呼びかけています。

・ 高齢者の交通事故防止活動

高齢者が運転時や歩行時に当事者となる交通事故が増加していることから、チラシを作成し、高齢者に対して安全な行動による事故防止を呼びかけています。

・ 飲酒運転防止活動

企業や自治体における飲酒運転防止の教育・研修で使用する手引きとして「飲酒運転防止マニュアル」を作成するとともに、イベント等において本マニュアルを活用し、飲酒運転による事故のない社会の実現に向けて啓発活動を行っています。

② 防災・自然災害対策

■ 地域の安全意識の啓発

- ・ 小学生向け安全教育プログラム「ぼうさい探検隊」の普及
子どもたちが楽しみながら、まちを探検し、まちにある防災、防犯、交通安全に関する施設・設備を発見してマップにまとめる「ぼうさい探検隊」の取組みを通じ、安全教育の促進を図っています。
- ・ 幼児向けの防災教育カードゲーム「ぼうさいダック」の作成・普及
子どもたちが実際に身体を動かし、声を出して遊びながら、安全・安心のための「最初の第一歩」を学ぶことができるカードゲーム「ぼうさい

ダック」を作成し、幼稚園・保育所等での実施を通じて、防災意識の普及に取り組んでいます。

■地域の防災力・消防力強化への取り組み

- ・軽消防自動車の寄贈
地域の消防力の強化に貢献するため、小型動力ポンプ付軽消防自動車を全国の自治体や離島に寄贈しています。
- ・防火標語の募集と防火ポスターの制作
家庭や職場・地域における防火意識の高揚を図り、社会の安全・安心に貢献するため、総務省消防庁と共催で防火標語の募集を行っています。入選作品は「全国統一防火標語」として、防火ポスター（総務省消防庁後援・約20万枚作成）に使用され、全国の消防署をはじめとする公共機関等に掲示されるほか、各種の防火意識啓発・PR等に使用されます。
- ・ハザードマップを活用した自然災害リスクの啓発
自治体等が作成しているハザードマップの活用にあたり、自然災害に対する日頃からの備えや対策を多くの方に促すことを目的として、eラーニングコンテンツ「動画で学ぼう!ハザードマップ」を損保協会ホームページ上に公開し、啓発活動を進めています。

③犯罪防止対策

■盗難防止の日（10月7日）の取り組み

2003年から10月7日を「盗難防止の日」と定め、毎年、各地の街頭で損保社員、警察関係者などが盗難防止啓発チラシとノベルティを配布し、盗難防止対策の必要性を訴えています。

■自動車盗難の防止

「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム」に2001年の発足当初から民間側事務局として参画し、盗難防止対策に取り組んでいます。

■不正修理業者に関する注意喚起

住宅修理（リフォーム）に関し、「保険金が使える」と言って勧誘する業者とのトラブル相談が多く寄せられています。このようなトラブルに巻き込まれないよう注意を呼びかけるため、独立行政法人国民生活センターと連携してチラシを作成し、啓発活動を行っています。

■啓発活動

地域で子どもが犯罪や交通事故等の不慮の事故に巻き込まれないよう、大人と子どもと一緒に対策を考える手引きを作成し、防犯意識の高揚に

取り組んでいます。

④環境問題への取り組み

■自動車リサイクル部品活用の推進

限りある資源を有効利用することにより、産業廃棄物を削減し、地球温暖化の原因となっているCO2の排出量を抑制することを目的として、自動車の修理時におけるリサイクル部品の活用推進に取り組んでいます。

■自動車修理における部品補修の推進

リサイクル部品の活用同様に、産業廃棄物とCO2の排出量の抑制を目的として、啓発動画やチラシによる部品補修の推進に取り組んでいます。
※啓発動画は損保協会ホームページやYouTubeに公開しています。

■エコ安全ドライブの推進

環境にやさしく、安全運転にも効果がある「エコ安全ドライブ」の取り組みを推進するため、ビデオクリップ（DVD）とチラシを作成し、その普及に取り組んでいます。

■環境問題に関する目標の設定

地球温暖化対策として、CO2排出量の削減と、循環型社会の形成に向けた廃棄物排出量の削減について、業界として統一目標を設定し、その実現に向けて取り組んでいます。

⑤保険金不正請求防止に向けた取り組み

■保険金不正請求ホットラインの運営

2013年1月から「保険金不正請求ホットライン」を開設して、損害保険の保険金不正請求に関する情報を収集し、損害保険各社における対策に役立てています。

■保険金詐欺防止ポスターの作成・掲出

保険金詐欺防止ポスターを作成し、会員会社や損害保険代理店等に掲出し、保険金詐欺が重罪^(※)であることを周知するとともに、保険金詐欺をたくらむ人物への牽制を図っています。
※「刑法第246条第1項 人を欺いて財物を交付させた者は、10年以下の懲役に処する。
第2項 前項の方法により、財産上不法の利益を得、又は他人にこれを得させた者も、同項と同様とする。」

■保険金不正請求防止啓発動画の作成・公開

「これ位ならいいだろう」という出来心による保険金不正請求を防止するため、啓発動画を作成し、損保協会ホームページやYouTubeに公開しています。